

H29.3.1 富山朝刊

富山朝刊 H29.3.1

# 「市民目線で行動」

## 水見市が法令順守指針

水見市は28日、コンプライアンス（法令順守）ガイドラインを作成したと発表した。コンプライアンスの定義を独自に「市民・納税者・地域の目線で正しく判断、行動すること」と定めた。同日の市議会全員協議会や定例記者会見で本川祐治市長が説明した。

推進へ、組織の対応として報告や調査、相談窓口の設置、情報公開など違反への対応も示した。市はホームページなどを通じて市民に公表する。

特別職も対象に検討  
全員協議会で市議から「職員だけでなく、市長など特別職も対象にしたガイドラインにすべき」と指摘があり、前江秋男副市長は「重く受け止める」と内容を検討する考えを示した。

H29.3.1 北日本朝刊

北日本朝刊 H29.3.1

# 法令の順守へ ガイドライン

来月から専任職員配置  
水見市は28日、コンプライアンス（法令順守）のガイドラインを取りまとめ、公表した。違反が起きないための組織作りとして、4月から総務課に専任の担当職員を配置。毎月の業務初日を「コンプライアンスの日」と定め、10カ条の通知を行うことも盛り込んだ。

市は「サイクルステーション」整備事業を進める不適切な事務処理などの問題を受け、昨年2月に外部有識者による委員会を設置し、内容を議論してきた。

コンプライアンスを「市民・納税者・地域の目線で正しく判断、行動すること」と定義。各課局長で構成する連絡会議や推進役を設置し、男女別の相談窓口や内部公益通報窓口を設ける。研修による意識化を図り、四半期に1回、職場ミーティングも開催する。